

時空をこえてつながってきた人形劇のまち飯田

# みる・演じる・ささえる わたしがつくるトリアングルステージ 「いいだ人形劇フェスタ」の特徴

いいだ人形劇フェスタは、誰でも参加できる日本最大の人形劇の祭典です。毎年8月上旬、飯田市及び周辺の約130会場で、400ステージ以上の人形劇公演が繰り広げられます。全国そして海外から300以上の劇団が一堂に集まり、中学生から大人まで、2000人を超える市民がボランティアスタッフとして、いいだ人形劇フェスタを支えています。

人形劇を観る人も、演じる人も、そして支える人も、みんなが参加証ワッペンを購入し、身につけて参加します。ワッペンは、みんなでフェスタをつくるシンボルです。

フェスタ期間中は、飯田市内20地区の公民館や集会所、神社やお寺、保育園や学校など生活の場が劇場になります。それぞれの地区で組織される実行委員会によって公演が運営されています。飯田市全域のどこでも公演が行われ、それを地域の住民が支えている、それがいいだ人形劇フェスタの大きな特徴です。

いいだ人形劇フェスタは、参加する一人ひとりの思いを大事にします。市民も劇人も誰でもが、自分のやりたいことが提案でき、皆の賛同を得られれば、皆でその提案が実行できるようにサポートをします。これによって、飯田だけの新しい企画や作品が生まれています。

ワッペンはみんなで  
フェスタをつくる  
シンボル



参加証ワッペン方式  
人形劇をみる人も、演  
じる人もそしてスタッフ  
として働く人も、みんな  
が参加証ワッペンを購  
入し、身につけて参加  
します。その収入がフェ  
スタを支えています。

みる

400以上ある公演からいくつでもみることができます。毎年、おおよそ延べ5万人の人たちが観劇します。公演の主体は次の4つです。

- 本部公演 実行委員会が企画運営する公演。
- 地区公演 市内各地区公民館が中心となる地区実行委員会が本部と連携して運営する公演。
- 広域公演 飯田市周辺の町村が、実行委員会と連携して企画運営する公演。
- プレゼント公演 企業や団体、個人が公演経費を負担し、提供される公演。ワッペンだけで見ることができます。

※有料観劇券の必要な公演と、ワッペン提示のみで観劇できる公演とがあります。

演じる

毎年、全国から、世界から、おおよそ300劇団、1,700人の人形劇人が飯田に集まり、それぞれに自分たちの人形劇を演じます。公演形態には、ABCの3つのタイプがあります。

- Aタイプ…専門劇団の自主公演、プロ劇団が意欲的な作品を紹介するタイプ。チケット価格は劇団が設定し、劇団の収入となります。
- Bタイプ…専門劇団の上演希望の作品から実行委員会が選考するタイプ。実行委員会が上演経費を支払います。
- Cタイプ…プロ・アマを問わず参加エントリーができるタイプ。上演経費は支払われません。

ささえる

フェスタは多くの市民・人形劇人・企業や団体・行政によって創り支えられています。フェスタの主催は、いいだ人形劇フェスタ実行委員会、飯田市・飯田市教育委員会ですが、そのほかに、様々な形で応援してくれる多くのみなさんによってささえられています。

- 2,000人を超える市民ボランティア  
中学生から大人まで2,000人を超える市民スタッフの手によって運営されています。
- 自分たちのお祭りとして参加する劇人たち  
上演する劇団も観劇だけの劇人もいますが、毎年1,700人を超える劇人たちが自分たちのお祭りとして参加しています。
- フェスタを応援する企業や団体、市民たち  
40を超える多くの企業や団体が共催、協賛、後援、協力をしています。
- フェスタを支える行政  
飯田市と飯田市教育委員会はフェスタ事業費の一部を負担するとともに、事務局業務を担っています。